

販売店様・加工店様へのお願い

この度は、当社製品をお買上頂き誠に有難うございます。
 本体取付の際には、本マニュアルをご一読頂きますようお願い申し上げます。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直接日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・施工時、雨がかからない様にご注意ください。
- お願い** ・取付の際、水平・垂直・ねじれ（対角）にご注意ください。

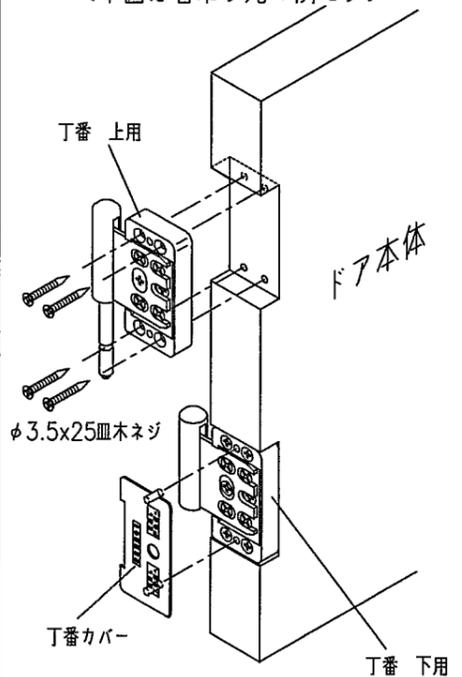
梱包内容

- 枠梱包
- 本体梱包
- ケーシング梱包
- 部品箱

姿 図	マニュアル		レバーハンドル	台座（丸座・角座）	台座カバー（丸座・角座）	丁番 上下	丁番 取付けビス （φ3.5x25）
	空						
錠							
表							
錠							
数量	1	1セット （R/Lナジ）	1セット （R/Lナジ）	1セット （R/Lナジ）	1セット （R/Lナジ）	上用・下用 各1セット（R/L有り）	1セット （8本x1）

丁番の取付け

（本図は右吊り元の例です）



ドア本体に丁番を木ネジで取り付けます。

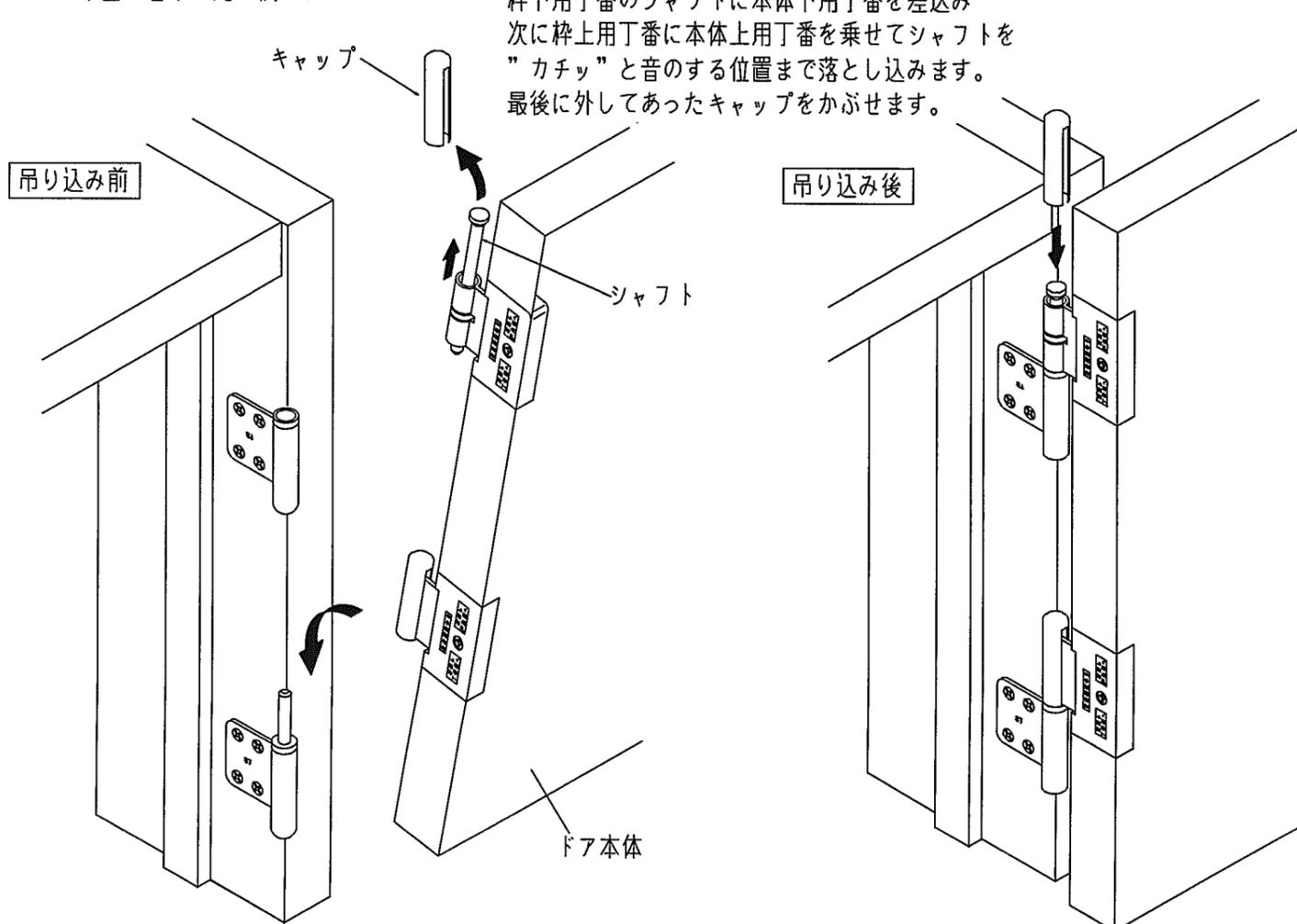
丁番には右用、左用以外に
 上用、下用がありますので
 注意して取り付けてください。

注意 丁番は木ネジでゆるみのないよう
 しっかりと取り付けてください。

丁番の取付けが終わったら、丁番カバーを
 しっかりと嵌め込んでください。

ドア本体の吊り込み

（本図は右吊り元の例です）

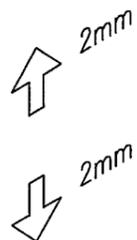
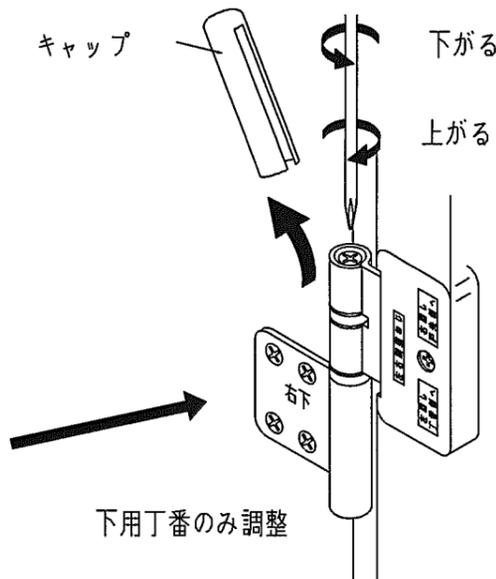
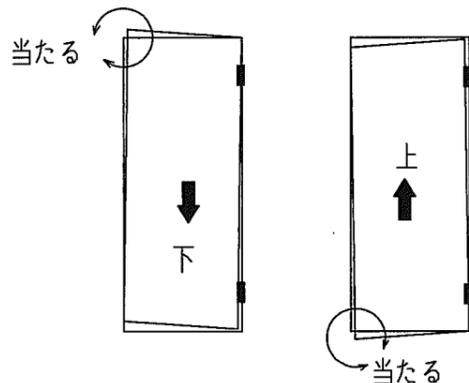


本体上用丁番のキャップを外し、シャフトを引き上げます。
 枠下用丁番のシャフトに本体下用丁番を差込み
 次に枠上用丁番に本体上用丁番を乗せてシャフトを
 ”カチッ”と音のする位置まで落とし込みます。
 最後に外してあったキャップをかぶせます。

丁番の調整

上下調整

(1) ラッチ側の上、下が当たる場合



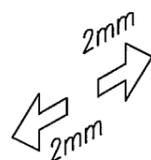
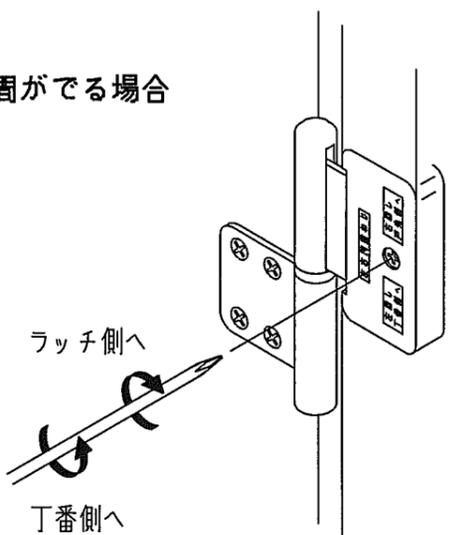
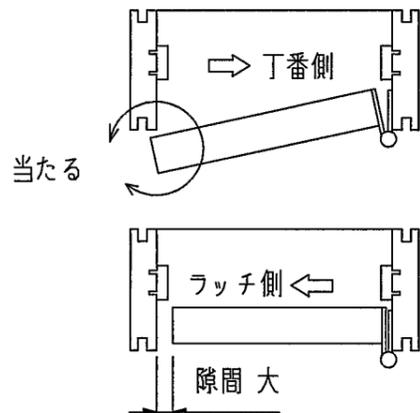
下用丁番のキャップを外し、丁番の管の内部にある調整ネジを回し調整します。

右に回せばドアは上方向へ2mm
左に回せばドアは下方向へ2mm
調整できます。

調整が終わりましたら、キャップをかぶせてください。

左右調整

(2) ラッチ側の縦枠に当たったり、隙間がでる場合

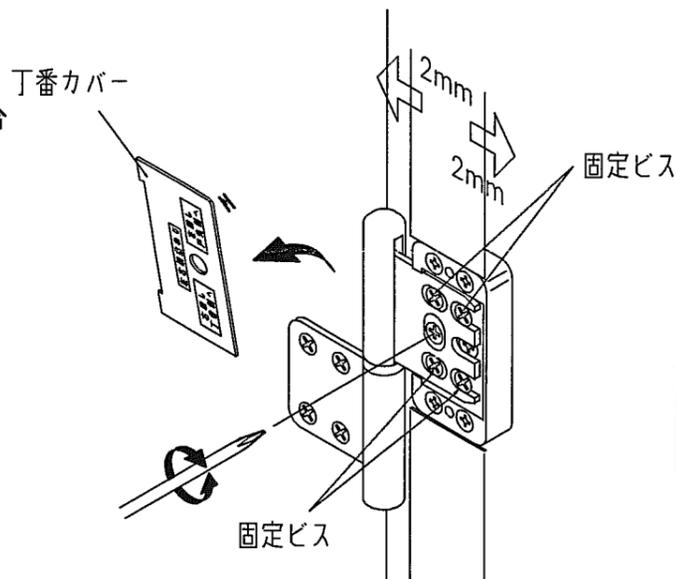
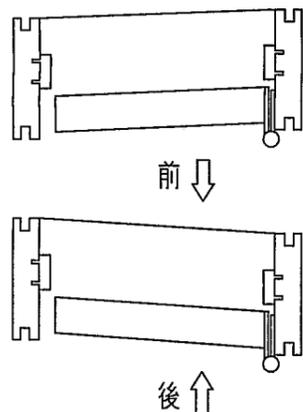


ドア本体側に取付いた中央の左右調整ビスを回し調整します。

右に回せばドアはラッチ方向へ2mm
左に回せばドアは丁番方向へ2mm
調整できます。

前後調整

(3) 左右縦枠がネジれている場合



ドア本体の丁番カバーを外し、4本の固定ビスをゆるめてください。

中央の前後調整ビスを回し調整します。

前後へ2mmずつ調整できます。

注意

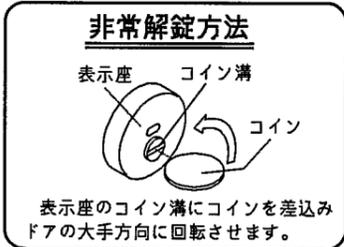
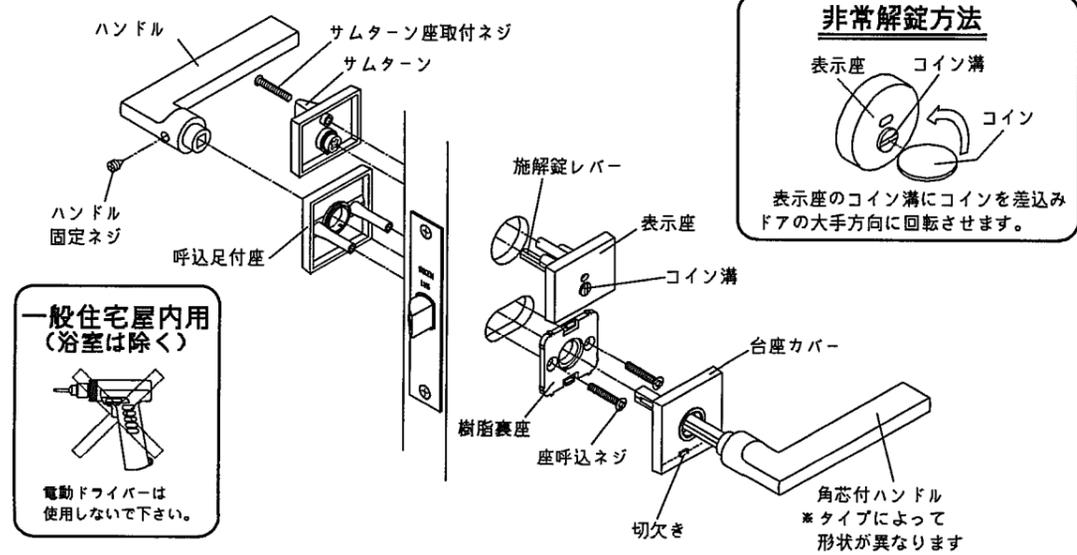
調整が終わりましたら、4本の固定ビスを完全に締め付けてください。

先ほど外したカバーをしっかりとめ込んでください。

錠の固定

ハンドルの取付 (部品箱)

1. 台座が真っ直ぐになるように皿ビスをしめて下さい。
2. 芯出しのため、両側のハンドルを差込み、ハンドルの動きを見て動きの良いところで座呼込ネジを締めて下さい。
3. 台座カバーを被せてレバーハンドルを差し込んで下さい。
4. 2と同様にハンドルを差込み、ハンドル固定ネジでしっかり止めて下さい。
5. 表示座のコイン溝を縦にして、施解錠レバーを錠本体の上部の十字穴に通します。
6. 内側のサムターンも縦にして表示座とサムターン座を組合わせ、サムターン取付ネジで固定して下さい。
7. サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認して下さい。

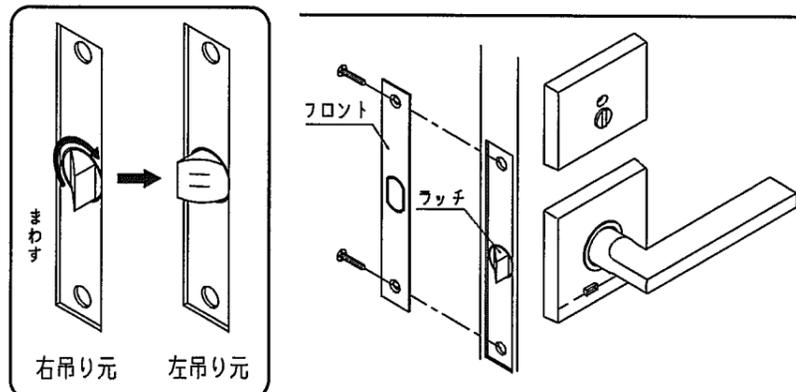


一般住宅屋内用 (浴室は除く)



錠のR・Lの設定について

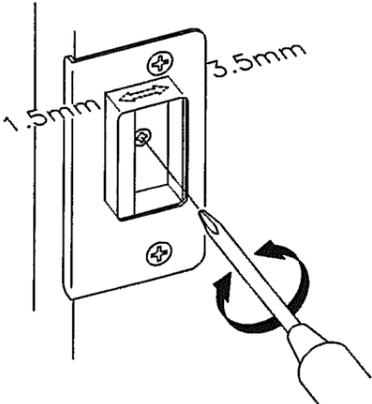
ドア本体にはR/Lがありません。
錠(ラッチ)は工場出荷時に右吊り元の向きに取り付けてありますが左吊り元として使用する場合に図のように、フロントを取り外しラッチの先端を回転させた後、フロントを付け直して下さい。



錠受の調整

錠受とラッチとの当たりを調整したい時は、錠受の中心にあるビスを回して下さい。

右に回すと約3.5mm
左に回すと約1.5mm、調整できます



取付けをされる業者の皆様へ

取付後、本書は必ず御施主または御入居様へお渡し下さい。

LVSケースロック 仕様

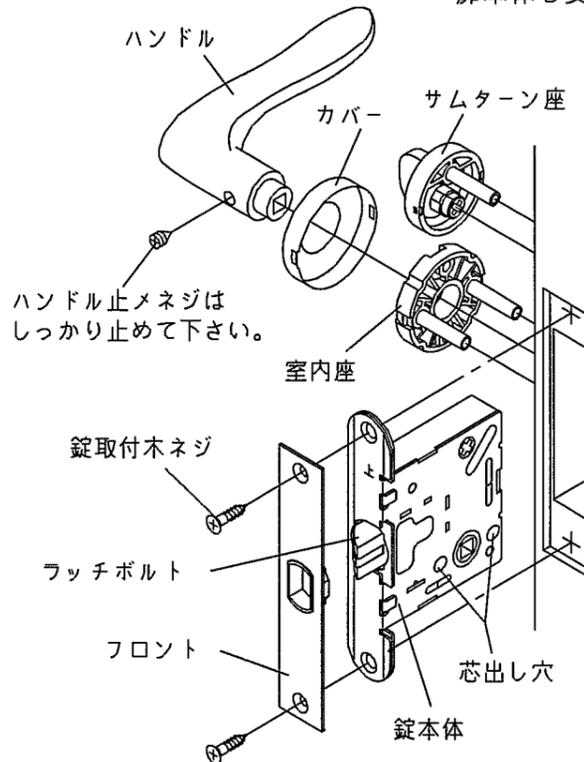
セパレート丸座 ND・DR座 レバーハンドル錠 取付説明書

(空錠・内締錠・表示錠・シリンダー錠)

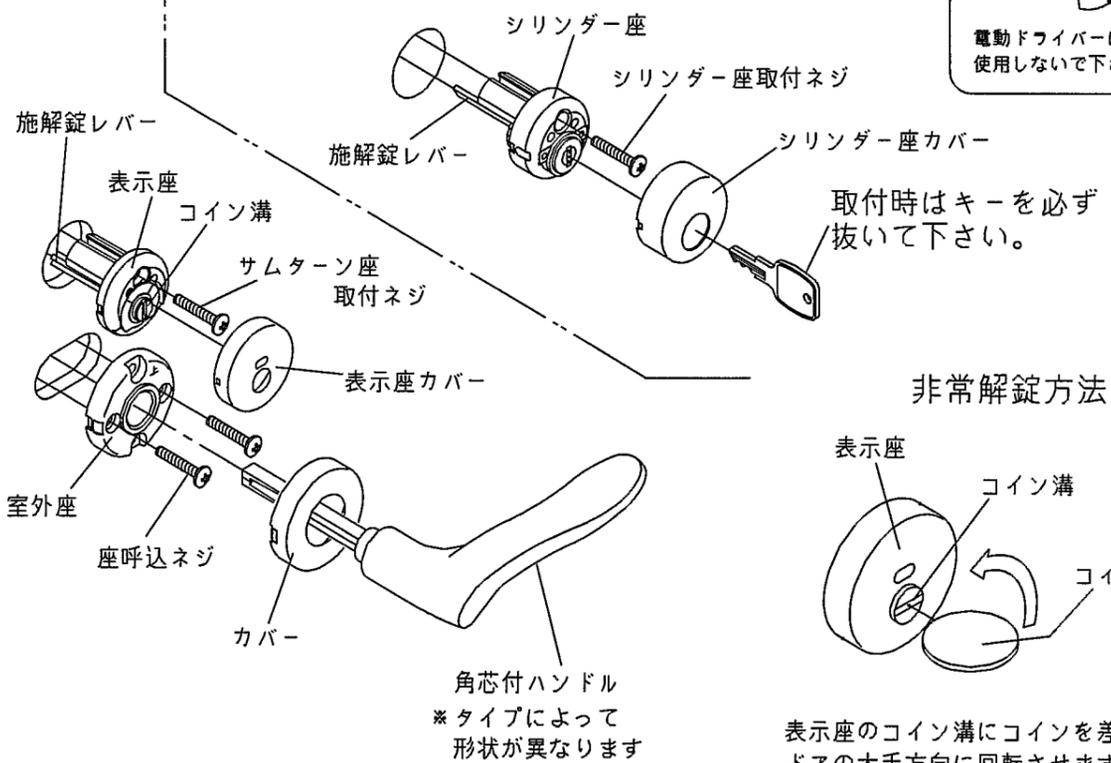
一般住宅屋内用
(浴室は除く)

取付上の注意

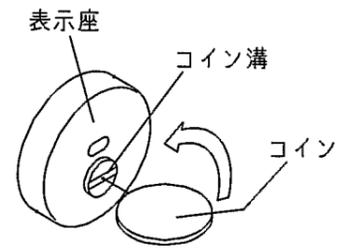
- ※本製品は、玄関や屋外では使用しないで下さい。
- ※座呼込ネジは必要以上に強く締め付けしないで下さい。
扉本体を变形させたり、錠の機能に支障をきたす恐れがあります。



シリンダー錠の場合



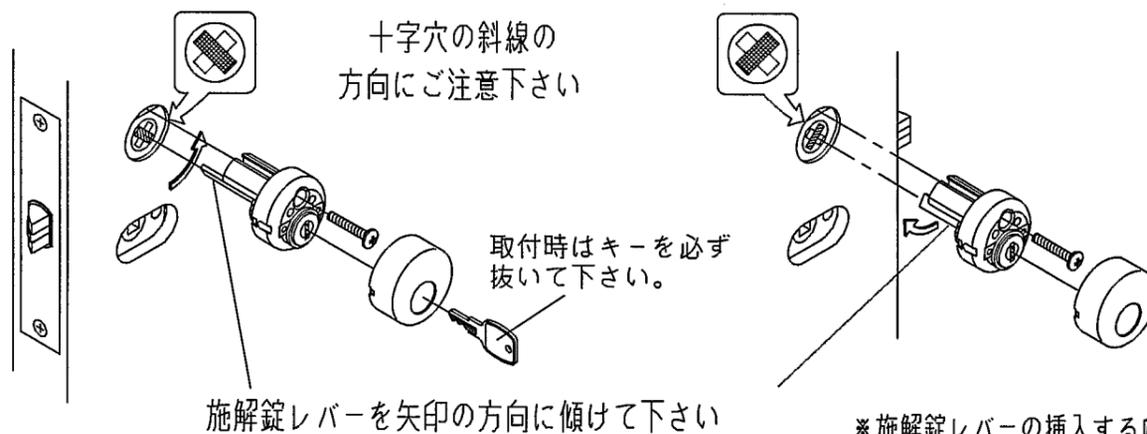
非常解錠方法



表示座のコイン溝にコインを差込み
ドアの大手方向に回転させます。

取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
 2. ラッチボルトを指で押し込んでみて解錠状態であることを確認して、錠本体を刻印の向きに差込んで下さい。
 3. ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから、錠本体にフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定して下さい。
 4. 外側座を錠本体の芯出し穴に差込み、室内側座とハンドル座取付ネジで仮止めして下さい。
 5. 芯出しのため、両側のハンドルを差込み調子を見て、動きの良いところで座呼込ネジを締め付けて下さい。
 6. ハンドルを一旦抜いてから、内外のカバーの切欠きを合わせてはめ込んで下さい。
 7. 5と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジでしっかり止めて下さい。
 8. 表示座のコイン溝を縦にして、施解錠レバーを錠本体の上部の十字穴に通します。
内側のサムターンも縦にして表示座とサムターン座を組み合わせ、サムターン座取付ネジで固定して下さい。
 9. サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認して下さい。
 10. 表示座カバーを切欠きに合わせてはめ込んで下さい。
 11. ストライクは、裏面を参考にしてラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。
- シリンダー錠の場合
12. キーをシリンダー本体から必ず抜いて下さい。
 13. 下図のように施解錠レバーを矢印の方向に傾け、室内座のサムターンを縦にして内外の座合わせます。
ドアを開けたまま、サムターン及びキーを回して、正しく施解錠するかどうか確認してください。
 14. シリンダー座カバーを切欠きに合わせてはめ込んで下さい。



※施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、
正常作動出来なくなりますのでご注意ください。

取扱上の注意

1. ネジがゆるんだ状態で使用していると、錠に負担がかかり扉が開かなくなる重大な事故になる場合があります。
ネジの増し締めをお願いします。
2. レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。

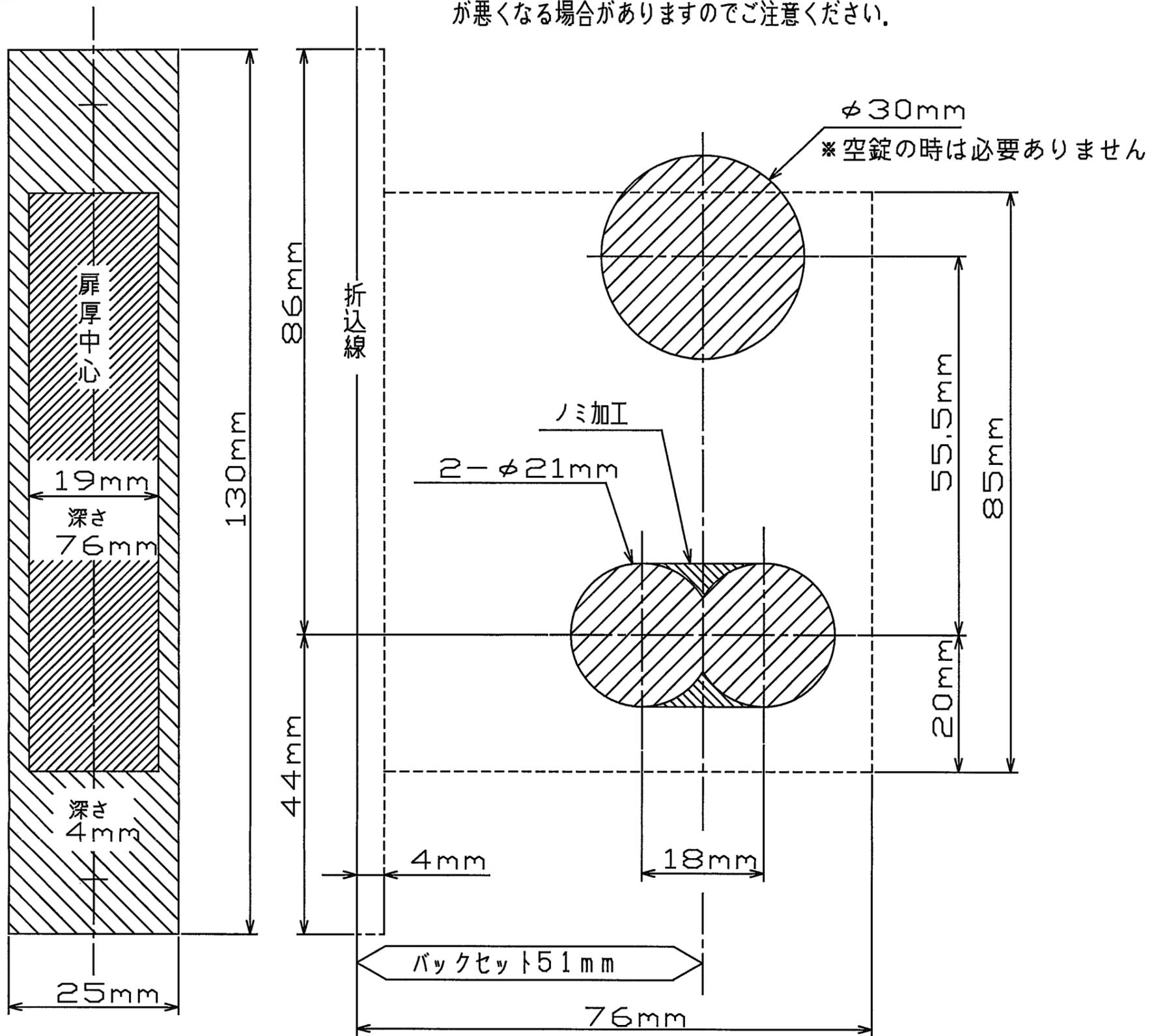
表面のお手入れについて

1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

取付型紙

注意

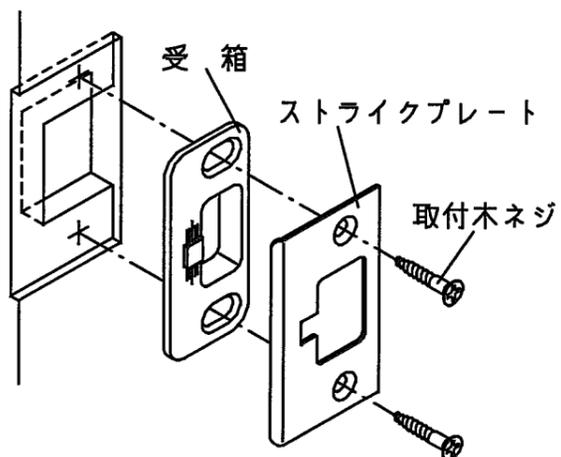
ケースロックの厚みに合わせて19mmで彫込んで下さい。
彫込みが広すぎると、ケースロックとドアの隙間が大きくなるため、座の取付けるネジを強く締むとドアがへこむ恐れがあり、カバーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。



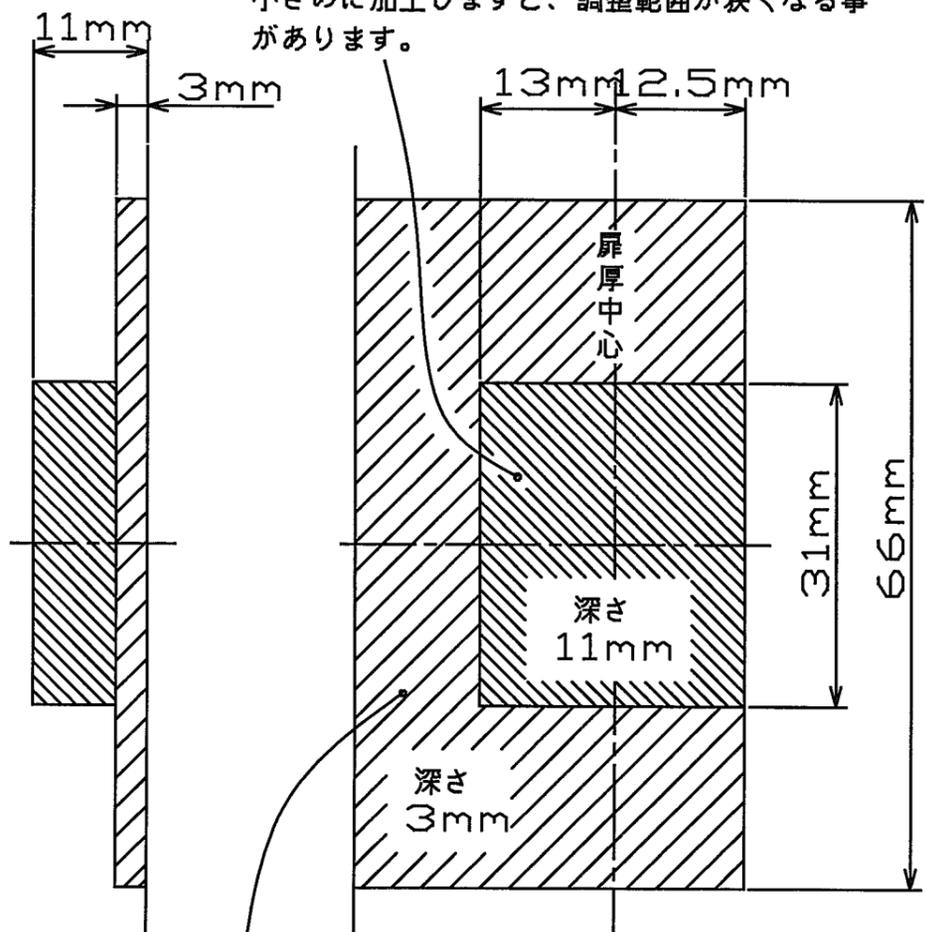
ドア表面の穴を先に横手面からの穴を後に加工して下さい。

使用可能扉厚
28~40mm

調整ストライク取付図



*受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。
小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。



*この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。